

体系図

課題		計画の目標	個別事業	実施主体	事業の実施スケジュール			
					R4	R5	R6	R7
① 行きたい時間に行きたい場所に行けない	1 安心して暮らせる 公共交通サービスへ	1-1 公共交通軸の維持(JR東海道本線)	交通事業者	○	○	○	○	
		1-2 公共交通軸の維持(天竜浜名湖線)	交通事業者	○	○	○	○	
		1-3 デマンド型乗合タクシーの市内全域化へ	湖西市	○	○	○	○	
		1-4 湖西市企業シャトルBaaSの社会実装	湖西市		○	○	○	
		1-5 バス停付近におけるバス利用者の自転車駐輪場の確保	湖西市		○	○	○	
		1-6 免許返納者への優遇措置	湖西市		○	○	○	
② 高齢ドライバーの増加に伴う交通事故件数の増加	1 安心して暮らせる 公共交通サービスへ	1-7 高齢者バス・タクシー利用料金助成	湖西市	○	○	○	○	
		2 魅力ある 公共交通サービスへ	2-1 市内事業者と連携した付加価値の創出	湖西市	○	○	○	○
			2-2 ふじのくにCOOLチャレンジクルポ ポイントスポットへの登録	湖西市	○	○	○	○
			2-3 各地区別や中3向けの利用モデル等を掲載したチラシの作成と配布	湖西市	○	○	○	○
			2-4 SNS(市公式LINE)やデジタルサイネージを活用した情報発信	湖西市	○	○	○	○
③ 高齢者人口の増加に対応した公共交通サービスの充実	2 魅力ある 公共交通サービスへ	2-5 夏休み小学生50円バスの実施	湖西市 交通事業者	○	○	○	○	
		3 持続可能な 公共交通サービスへ	3-1 交通事業者と連携した運転手等の人材確保	交通事業者 湖西市	○	○	○	○
3-2 デマンド型乗合タクシーの乗合割引の導入	湖西市		○	○	○	○		
3-3 コーちゃんバス路線の見直し	湖西市 交通事業者		○	○	○	○		
3-4 運行の効率化によるコーちゃんバスの利便性向上	湖西市				○	○		
④ 移動手段として公共交通の優先順位が低い	3 持続可能な 公共交通サービスへ	⑤ 時刻表などの見方が難しい (利用したいが利用できない)	交通事業者 湖西市	○	○	○	○	
⑥ 限られた財源の有効活用と公共交通サービスの効率化								

目標	成果指標	No.	個別事業	実施主体	事業の概要	今後の事業内容	事業の実施スケジュール				KPI			
							R4	R5	R6	R7	内容	基準値 (R2)	目標値 (R6)	
1 安心して暮らせる公共交通サービスへ	70歳以上の市民の公共交通に対する満足度 ※市民意識調査より	1-1	公共交通軸の維持(JR東海道本線)	交通事業者	市内に鷺津駅、新所原駅、新居町駅の3つの駅があり、東に位置する浜松市と西に位置する愛知県豊橋市を結び、市内を東西に横断する形で運行しています。総合交通マップへの運行時刻の掲載など、利用啓発を図ります。	JR東海道本線の維持 総合交通マップへ運行時刻を掲載	○	○	○	○				
		1-2	公共交通軸の維持(天竜浜名湖線)	交通事業者	市内に新所原駅、アスモ前駅、大森駅、知波田駅の4つの駅があり、浜名湖の北部を経て掛川駅まで運行しています。総合交通マップへの運行時刻の掲載など、利用啓発を図るとともに、沿線市町と連携して利用促進事業を実施します。	天竜浜名湖線の維持 総合交通マップへ運行時刻を掲載 天竜浜名湖線市町会議と連携した利用促進事業の実施	○	○	○	○				
		1-3	デマンド型乗合タクシーの市内全域化へ	湖西市	平成30年3月より白須賀地区の一部で実証実験を開始し、平成30年8月に白須賀地区全域へ拡大しました。(令和2年4月より本格運行)令和元年11月より知波田地区にて実証実験を開始しました。令和4年4月よりJR駅付近を除く市内全域へ対象地区を拡大するとともに全5地区で本格運行を開始します。自宅からバス停まで移動が困難な方の移動手段の確保や公共交通空白地域のカバーを目的に、自宅から指定施設、指定施設から自宅への移動手段として市内全域化を目指します。	JR駅周辺を除く地区に利用可能エリアを拡大することで、高齢者を中心とした買い物、通院時の移動手段の確保、免許返納の促進を図る。また、利用実績等を考慮し、市内全域化について検討を進める。	○	○	○	○	デマンド型乗合タクシーの利用者数	2,506人	10,774人	
		1-4	湖西市企業シャトルBaaSの社会実装	湖西市	令和2年度に経済産業省が行う「地域新MaaS創出推進事業」の先進パイロット地域として選定され、鷺津駅周辺地区、新所原駅周辺地区にて1か月間実証実験を実施しました。(当初2ヶ月間の予定であったが新型コロナウイルスの影響により1か月に短縮)協力企業と連携を図りながら、新たな移動手段として社会実装を目指します。	企業シャトルバスを活かした有償旅客運送による移動サービスと公共交通への行動変容を促す消費喚起誘導をMaaSを活用して推進する。		○	○	○	企業シャトルBaaS利用者数	248人	1,000人	
		1-5	バス停付近におけるバス利用者の自転車駐輪場の確保	湖西市	鷺津駅や新所原駅等の公共の自転車等駐輪場であれば駐車可能ですが、一部のバス停に限られます。その他の公共施設や市内事業者など、協力施設の増加を目指すとともに周知を行い、バスの利用促進を図ります。	バス利用者が、バス停付近まで自転車で移動し、バスを利用できるように、バス停付近の公共施設や市内事業者など、協力可能な事業者を募る。また、チラシ等に駐車可能施設を掲載し、周知するとともに協力事業者の紹介などを行う。		○	○	○	周知を行った利用可能な駐輪場の数	0箇所	10箇所	
	基準値 (R3)	47.2% (速報値)	1-6	免許返納者への優遇措置	湖西市	平成29年4月から公共交通の利用促進を図ることを目的に、運転免許証を自主返納した方を対象にコーちゃんバスの2年間無料乗車券を交付しています。	無料乗車券利用者や交付申請者は毎年減少傾向にあります。免許返納者の外出機会の維持や免許返納の促進に対してより効果的な事業とするため、運賃の割引など優遇措置内容について見直しを行う。		○	○	○			
	目標値 (R7)	67.0%	1-7	高齢者バス・タクシー利用料金助成	湖西市	平成25年4月から75歳以上の高齢者を対象に、買い物、通院などの利便性の確保と、社会活動への参加の促進に貢献するために、バス・タクシーの利用料金の一部を助成する事業を実施しています。	「高齢者バス・タクシー利用料金助成」の継続担当課と連携し、窓口における周知や無料乗車券交付申請者への案内を行う。	○	○	○	○			

目標2

目標	成果指標	No.	個別事業	実施主体	事業の概要	今後の事業内容	事業の実施スケジュール				KPI			
							R4	R5	R6	R7	内容	基準値 (R2)	目標値 (R6)	
2 魅力ある公共交通サービスへ	市民1人あたりの公共交通年間利用回数 (コーちゃんバス、デマンド)	2-1	市内事業者と連携した付加価値の創出	湖西市	商業施設や飲食店、医療機関など、移動の目的となる場所と連携し、公共交通と買い物や飲食、公共交通と通院など、それぞれの利用促進に繋がる事業を検討します。	商業施設や飲食店、医療機関を利用した人に対する運賃割引や公共交通を利用した方に対するサービスの仕組みについて検討するとともに協力可能な事業者を募る。	○	○	○	○				
		2-2	ふじのくにCOOLチャレンジクルポ ポイントスポットへの登録	湖西市	地球温暖化の自主的な取り組みを促進するために静岡県が実施している「ふじのくにCOOLチャレンジクルポ」と連携し、地球温暖化防止に取り組むとともに、公共交通が身近な脱炭素への行動の1つであることの周知と利用啓発を実施します。	「ふじのくにCOOLチャレンジクルポ」のポイントスポットとしてコーちゃんバスを登録するとともに車内や市ウェブサイト等で啓発を行う。	○	○	○	○				
		2-3	各地区別や中3向けの利用モデル等を掲載したチラシの作成と配布	湖西市	令和3年3月に市内中学校3年生へ高校通学や通勤を考慮した利用モデルを掲載した利用啓発チラシを配布しました。買い物や通院など目的に応じた利用モデル等を掲載したチラシを地区ごとに作成し、乗り継ぎ方法等を周知することで、利用促進を図ります。	各地区ごとに様々な利用モデル等を掲載したチラシを四半期ごとに配付する。また、利用啓発事業等も併せて紹介する。	○	○	○	○				チラシの配付回数
	基準値 (R2)	1.28 回/人	2-4	SNS(市公式LINE)やデジタルサイネージを活用した情報発信	湖西市	令和3年3月に市公式LINE、新所原駅デジタルサイネージにてコーちゃんバスの情報を掲載しました。買い物や通院など目的に応じた利用モデル等を掲載したチラシの配布に合わせ、市公式LINEや新所原駅デジタルサイネージ等で定期的な情報発信を行います。	チラシの配布時やイベント時など、定期的にSNS等を活用した情報発信を行う。	○	○	○	○	SNSやデジタルサイネージによる情報発信回数	2回	10回
	目標値 (R6)	1.58 回/人	2-5	夏休み小学生50円バスの実施	湖西市 交通事業者	平成25年度よりバスの利用促進策、公共交通について考えるきっかけづくりのため、夏休み期間中は小学生が1乗車50円で利用できる特別運賃割引「夏休み小学生50円バス」を開始しました。愛知県の東三河においても同様の事業が行われており、双方のチラシに掲載するなど、県を跨ぎ連携を図っています。	夏休み小学生50円バス事業を継続して実施する。また、乗り方教室などにより利用啓発を図る。	○	○	○	○	夏休み小学生50円バスの利用者数	104人	210人

目標3

目標	成果指標	No.	個別事業	実施主体	事業の概要	今後の事業内容	事業の実施スケジュール				KPI			
							R4	R5	R6	R7	内容	基準値 (R2)	目標値 (R6)	
3 持続可能な公共交通サービスへ	①収支率 ②利用者1人あたりにかかる市の負担額 (コーちゃんバス、デマンドの合計)	3-1	交通事業者と連携した運転手等の人材確保	交通事業者 湖西市	全国的な運転手不足の中、交通事業者と連携した採用情報の発信を行います。移住・定住促進事業や女性活躍推進事業など、様々な角度から情報発信を行うことで運転手の確保に努めます。	移住イベント時に雇用情報として運転手募集チラシなどを配架する。女性活躍推進事業を活用した女性向けの企業説明会への参加など、交通事業者と連携し、運転手の人材確保を行う。	○	○	○	○				
		3-2	デマンド型乗合タクシーの乗合割引の導入	湖西市	令和2年10月より、2人以上で乗車時に利用料金から一定金額の割引を行い利用者の費用負担を軽減することで利用促進を図ることを目的に導入しました。また、乗合率が向上することで、市負担額の軽減にも繋がります。	乗合割引の導入を継続するとともに、チラシの配架等により周知を行う。	○	○	○	○				デマンド型乗合タクシーの乗合率 (全地区合計)
	基準値 (R2)	①10.11% ②1,018円	3-3	コーちゃんバス路線の見直し	湖西市 交通事業者	平成25年4月から市内7路線で運行を開始しました。令和2年10月の路線再編に合わせて、ゾーン制運賃から市内全域一律運賃200円に見直しが行われました。利用実績や利用者、交通事業者などの意見を参考に定期的に見直しを行うことで利便性の向上、運行の効率化を図っています。	デマンド型乗合タクシーの市内全域化やバスの利用実績を考慮し、路線の圧縮や経路の効率化を図る。	○	○	○	○	コーちゃんバス1便あたりの利用者数	1,002 人	1,766 人
	目標値 (R6)	①16.00% ②830円	3-4	運行の効率化によるコーちゃんバスの利便性向上	湖西市	コーちゃんバス路線の見直しに合わせ、ダイヤや運行経路を調整することで都市拠点である鷺津地区内でのバスの利便性向上、運行の効率化を目指します。	鷺津地区内において、運行経路の見直しやダイヤの調整により、同時間帯に重複する路線を削減し、利便性向上、運行の効率化を図る。					○	○	